

これからの歯科技工士に残すべきもの

歯科技工士のなり手は減少傾向にあり、歯科技工士養成機関も定員減少、募集休止、閉校等窮地に立たされている。総務省の日本標準職業分類による歯科技工士は大分類コード B: 専門的、技術的職業従事者・中分類コード 14: 医療技術者・小分類コード 147 歯科技工士である。また日本標準産業分類による歯科技工所は大分類 P: 医療・福祉・中分類 83: 医療業・小分類 836: 医療に付随するサービス業・細分類 8361: 歯科技工所と位置付けている。しかし、患者に接する機会の少ない日常業務や長時間労働、低賃金等により将来を憂い、若年層を先頭に離職、廃業は後を絶たない状況にあり、従事する歯科技工士の平均年齢は上がる一方である。

働き方改革は歯科技工業も例外ではない。DX(デジタルトランスフォーメーション)は、データとデジタル技術によって商品やビジネス、業務、企業文化等の変革を成し遂げるものであり、その目的は競争力の維持・獲得・強化を果たすことにある。CAD/CAM 機器の進展によるデジタル技工やリモートワークは、これからの歯科技工士の憂いの解消可能なツールとして大いに期待できる。しかし、従来通りの解釈、法制度等ではチャンスを失うことになりかねない。このため本研修会では歯科技工士が必要とする知識(情報)を基に将来に向けて洞察力を高めたい。

【経歴】

氏名 奥村英世(おくむらひでよ) 生年: 1960年3月25日
所属 (一社) 愛知県歯科技工士会
学歴 日本歯科大学附属歯科専門学校(現 日本歯科大学東京短期大学) 卒
早稲田大学卒

§ (一社) 愛知県歯科技工士会

平成 22 年 4 月 副会長
平成 24 年 4 月 副会長

§ 愛知県歯科技工士連盟

平成 16 年 4 月 常任理事

§ (公社) 日本歯科技工士会

平成 24 年 7 月 常務理事、歯科技工管理委員会委員長
平成 26 年 7 月 常務理事、政策推進委員会委員、歯科技工所運営対策委員会委員
平成 26 年 11 月 総合政策審議会 委員
平成 28 年 7 月 常務理事、歯科技工所管理委員会委員長、記念誌編纂委員会委員、事業推進検討委員会委員
平成 30 年 7 月 常務理事、歯科技工所管理委員会委員長、管理者資格と認定施設の制度構築 PT 委員
令和 04 年 7 月 副会長

§ 日本歯科技工士連盟

令和 4 年 4 月 会長
現在に至る